

令和2年7月豪雨

人吉市では、令和2年7月3日、午後9時39分に大雨警報が発表され、同日午後9時50分に土砂災害警戒情報が発表されました。午後10時52分には洪水警報が発表され、その後、7月4日午前9時頃まで激しい雨が降り続き、11時間程で約400ミリ(砂防人吉観測所)の降雨を記録しています。

この豪雨により、山間部で土砂崩れや市中心部で河川の氾濫が発生し20名以上の尊い生命が失われました。また、中心市街地を含む約518haの地域が浸水し、約3,000棟の住家被害が発生、鉄道等の交通網の途絶や通信機器の途絶も発生するなど甚大な被害を受け、開設した避難所には最大で1,263名の方が避難されるなど、これまでに経験したことのない大規模な災害となりました。



人吉市消防団撮影

気象の概要

7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し4日未明には九州北部地方に進行。低気圧の東進に伴って3日夜には梅雨前線が九州北部まで北上、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州では大気の状態が非常に不安定となりました。このため、4日未明から朝にかけて、熊本県では記録的な大雨となりました。

4日未明から朝にかけて線状降水帯が発生し、県の南部を中心に局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、天草市、芦北町、津奈木町、人吉市、あさぎり町、球磨村、八代市付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報が発表されました。また、4日4時50分に球磨地方へ大雨特別警報が発表されました。



人吉市消防団撮影

河川水位の状況

人吉市内における水位計のある河川は、洪水予報河川に指定されている球磨川と水位周知河川に指定されている万江川、胸川の3河川となっています。



人吉市消防団撮影

球磨川の人吉観測所(中城町・水の手橋上流約300m地点)においては、洪水の影響により7月4日午前7時40分以降水位の計測ができなくなっていますが、隣接した大橋に設置されている危機管理型水位計が観測史上最高水位となる7.25m(速報値)を記録しています。